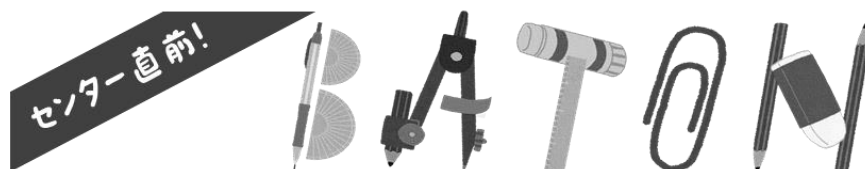


進路だより

発行：平成29年1月13日

1 **BATON**～卒業生による進路だより～

今回の **BATON** はセンター試験直前号です。初めての大学入試センター試験に臨むみなさんへ、経験者である1・2回生のみなさんからの心のこもったメッセージです。ぜひ参考にしてください。



～卒業生による進路だより～

NO. 12

こんにちは。バトン編集部です。編集員皆多忙でなかなか発行できず申し訳ありませんでした。細々とですが、これからも頑張ります。さて、今週末はセンター試験を控え、3回生の皆さんは準備万端といったところでしょうか。少しではありますが、編集員から皆さんへ激励のメッセージを贈ります。

田内 萌絵より

つい数年前までかわいがっていた3回生の後輩たちが、もうセンター試験を受けるような時期になったのだと思うと、不思議な気持ちになります。それぞれ目指すところは違うと思いますが、戦う場所は一緒です。終わった試験のことは忘れて、最後の一秒まで皆で一致団結して臨んでください。私は受験生のとき、1回生の仲間・先生と志望校への強い執念のおかげで、本来持ち合わせていた以上の力を発揮することができました。不思議なことに、これは本当です。センター試験当日は寒くなりそうなので、暖かい格好をして時間に余裕を持って行動しましょう。健闘を祈っています！

森川 希より

3回生のみなさん、今日まで勉強お疲れ様でした。きっと途中で逃げ出したくなったことも、折れそうになったこともあったと思います。ここまで頑張ればあと少しです。最後まで気持ちを強く持って、焦らずあわてず諦めず試験に立ち向かっていってください。

センターを控えたみなさんに、ほんの少しだけアドバイスしたいことがあります。

まず、試験が始まる直前まで勉強し続けること。当日の朝、会場に着いてから試験が始まるまでの時間でもできることがあります。私の場合は担任だった某世界史の先生に問題を出してもらったり、見慣れた問題集を繰り返し確認したりすることで、「いつもの定期テストや模試と同じようにやればい」と少しリラックスできたように思います。

2つ目は親に感謝すること。お父さん、お母さんはいつもみなさんのことを応援してくださっています。また、お弁当を作ってもらったり、塾の費用や受験料も出してもらったりしていると思います。そんなお父さんお母さんに、「ありがとう、頑張ってくるね」の気持ちをひとこと、伝えてみてください。私はセンター試験と二次試験の前夜、両親に手紙を書いて渡したのですが、気持ちを伝えることで改めて気が引き締められました。自分のことで精一杯な時こそ、周りの支えにも目を向けてみてください。

長々と書いてしまいましたが、とにかく今できることをやり切ってきてください！後のことは終わってから考えればいので！みなさんが力を出し切れるよう祈っています(*´ω`*)

加藤 あかねより

とうとうセンター試験ですね。入試に必要な不必要はさておき、唯一、みんなで受ける試験です。直前は好きな音楽を聴いて、リラックスしましょう。いつも使っている参考書、ノートを持って行って、眺めておく。何よりも緊張しないことが大切です。会場に着いてみると、周りには見知った顔がいますから、そんなに緊張しないはず！！会場は場所によって暑かったり寒かったりするので、膝掛けとかを持っていくのはもちろん、とても乾燥しているのでマスクがあったほうがいと思います。あと、「試験開始！」の合図で始めるのではなく、一度深呼吸して、問題を一通りみて始めること。どうしても焦ってしまいますから、一呼吸するのを忘れずに。

私は私立専願だったので、同じ私立専願の皆さんにアドバイスです。どんなに入試に関係がなくても、悪ければへこみますし、良ければ調子に乗ります。センター試験が終わってから、入試までの期間をどう過ごすかがとっても重要です。私立大学入試はセンター試験とは出題形式が全く違うことをみなさんも気づいていると思います。各大学また、各学部それぞれ個性のある問題を作ってきますし、科目によって難易度も様々です。自分が受ける大学、学部、それぞれの傾向をしっかりと掴めるように、たくさん問題を解いてください。

最後に一つだけ。努力に応じて結果が出るとは言いますが、どうにもならないこともあります。センター試験は始まりです。去年、ここからグッと伸びた級友をたくさんみました。みんなが笑顔で春を迎えられることを、心から祈っています。

山内 駿斗より

他の人が真面目なことを書いているので、少し軽いことを書かせてもらいます。

僕は前日、前々日くらいから「センターなんて応用問題が出るわけでも無いし、毎年似た形式だから簡単だ」と自分に言い聞かせ、気負わずのんびり過ごしていました(もちろんある程度勉強しましたが)。是非、今までの模試の日に立ち返り調子が良かった日、調子が悪かった日の気分を思い出して下さい。おそらく調子が良かった日は試験を重く考えすぎていなかったのではないのでしょうか？

本番は是非とも肩の力を抜いて、試験を適度になめて、自分は志望校受験生の中で一番賢いと念じて、そして周りの友達と少し会話をしてリラックスして下さい。結構落ち着いた気分で見られると思います。みなさんがベストな心理状態で試験に臨めることをただただ期待しています！

小黒 雄介より

以下の6点のことを心がけて欲しいです！

👉 **問題は解けるようにできている！**

センター試験に出題されるどの問題は、きちんと解けるようにできています。散々言われてきていると思いますが、地理の統計データを用いた問題では中国やアメリカばかりを見て考えない、数学の図形問題では条件の二等辺三角形などを見落とさない……。問題を解くための鍵は必要以上書かれていることもないですし、反対に必要な最低限は絶対書かれています。分からなくなったら、まずは落ち着いて問題をじっくり読みましょう！

👉 **今の時点ではみんな0点、スタートラインは全員同じ**

模試で何回もA判定を取っている人も、逆にE判定しかとったこともない人も、今の時点ではみんな0点です(推薦など一部は別なところもあるとは思いますが……)。今の段階で引け目を感じる必要なんてありません！

👉 **自分が難しい問題に苦しんでいるとき、同じくセンター試験を受けている受験生はみんな苦しんでいる**

どんなにいい判定を出したことがある人でも、所詮は同学年か、少なくとも同世代の人間です。みんな緊張しています。むしろ浪人生の方が緊張しているはず(こんなことを浪人生のいる1回生の一人が言うのもあまりよくありませんが……)。だから、自分に難しく思える問題は、一緒に受けている全国約56万人にとっても難しく思っています。分からないことをズルズル引きずらず、一問一問落ち着いてやることだけを考えましょう！

👉 **万全の準備が自分を成功に導く**

準備不足は焦りを生みます。今この時点から自分のできる最高の準備を心がけましょう。試験時間は始まっていませんが、試験時間を良いものにできるかどうかの準備は、既に始まっています。

👉 **「自分ができる」と言い聞かせて、思い込む 「自分=YDK」**

今日の今からの勉強は、新しいことをやろうとはせず、今まで自分ががんばってきたものをもう一度見直すなどして、自分を「よくがんばった」と誉めるような時間にしてください。そして、「これだけやったのだから、自分ができる」のだと言い聞かせ、思い込みましょう。その自信が、本番で難しい問題を見つけても、「自分にとって難しいから、他の人にとっても難しいはずだ」という落ち着きを生みます。

👉 **センター後のことは、文字通りセンター後に考えればよい**

センター試験の結果によって出願する学校をどうするか考えますが、試験中は「何点だったら志望校を変えないといけない」などという邪念は捨てましょう。そんなことを考えていると、どんどん焦り出してしまいます。まずは落ち着くことです。

色々と書きましたが、最後にみなさんに勇気を与えられるようなことを。僕は一昨年(2016年)の国語で、目標点より30点近く低い点数を取ってしまいました。それでも他でがんばって、志望校に合格しました。大切なことは、最後まであきらめないことです。悔いなくやりきってください！

がんばれ、3回生！！